

## 入社式における社長メッセージについて

～ 「人間力」を高め、常に自分の理想を高く持ち、謙虚でありながら果敢に挑戦を ～

記者各位

本日、開催いたしました「2006年度入社式」における、当社社長 西尾 進路による新入社員へのメッセージは以下のとおりです。また、社長挨拶の後、常務以上が一言コメントし、新入社員全員による決意表明が行われました。

尚、本年度の新入社員数は126名（内訳：大学院・大学卒/事務系＝23名・技術系＝49名、高専卒技術系＝3名、高校卒＝51名）となります。

当社グループでは経営理念として「Your Choice of Energy、エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」と提唱しているが、「エネルギーの将来を担うこと」と「地球環境との調和を図ること」を重視し、そして人々から最も信頼される企業グループになることを目指している。

今日、最も重要な課題の1つである環境問題に対応するためにも、石油など従来型のエネルギーを一層効率よく使う工夫や、水素のような新しいエネルギーの創造が、当社に求められる役割である。一方、中国やインドでの急速な経済成長に伴うエネルギー需要の増加や、不透明な中東情勢などにも目を向け、わが国のエネルギー安全保障を担うことも重要な課題と考えている。

現在、日本経済は回復基調にあるが、一方で世界的な石油需要の増加等により本格的な原油高価格時代を迎えており、当社事業の中核を担う石油精製・販売部門にとっては非常に厳しい環境となっている。そのような状況下において、当社では数年前からコスト削減など厳しい経営効率化を進め、従業員が力を合わせて取り組んできた。その結果、05年度から07年度の第3次連結中期経営計画において、将来の飛躍の時代に向けた基礎固めをするフェーズに入ることができた。10年度には、「一貫操業体制」と「総合エネルギー企業グループ体制」を確立し、将来に亘って飛躍することを目指す。

06年度において、当社は次の3点に注力する。

1つ目は商品・サービスの質の向上のサイクルを確立すること。良い品を他より安く作り、それをお客様に理解していただいたうえで、適正価格で販売し、得られた利益をさらに良い商品やサービスの開発に充当していきたい。2つ目は選択と集中に基づく戦略投資の実行。積極的な投資だけでなく、コスト削減や効率化も引き続き強力で推進し、最適事業ポートフォリオの構築に向けて全力を傾注していく考えである。3つ目はCSR経営の推進強化。当社は、「環境への配慮」「品質の向上」「コンプライアンス」「人間尊重」「情報セキュリティ」「社会への貢献」を重要なCSRの柱としており、これに基づく経営を強化していく。

最後に、新日本石油の社員として期待することを述べる。

会社の発展に一番大事なものは、社員個人の「人間力の高さ」と、これを基盤とした信頼関係や活力ある組織であると考えている。人間力の高さとは、常に、高い志と倫理観を持って物事に当たることができるか、そして、前例や既成の概念にとらわれずに挑戦する気概を持つことができるかということである。あるいは、社会人としての責任や義務をしっかりと果たしていくことができるかどうか。自らの権利ばかり主張して、権利と表裏一体の関係にある責任を放棄するような人間は、社会人としての資格はない。これは、一人の人間だけでなく、一企業にも同じことが言える。企業としての社会的責任をしっかりと果たしていくこと、これが社会におけるプレーヤーとして認めもらうための最低限の条件である。

社員一人ひとりの人間力が、新日本石油の企業としての実力を左右する。常に自分の理想を高く持ち、謙虚でありながらも果敢に挑戦する、そんな人間として大きく成長してほしい。

以上

 『新入社員の決意表明(抜粋)』(PDF:39KB)